

第2回札幌市行政評価委員会

会 議 録

日 時：2019年7月10日（水）午前9時30分開会
場 所：札幌市役所本庁舎 6階 1号会議室

1. 開 会

●石井委員長

時間になりましたので、第2回札幌市行政評価委員会を開始させていただきます。

2. 議 事

●石井委員長

早速、議事を進めていきたいと思えます。

一つ目は、平成29年度札幌市行政評価委員会における指摘事項への対応状況についてでございます。

最初に、事務局から、内容についてご説明をお願いしたいと思います。

●推進担当係長

それでは、説明させていただきます。

まず、資料1-1をご覧ください。

平成29年度札幌市行政評価委員会における指摘事項への対応状況一覧です。

平成29年度は、地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり、都市基盤の維持・保全と防災力の強化の二つの施策について、評価をしていただき、合計9項目のご指摘をいただきました。

これらの項目につきましては、平成30年度の1年間を通じて、各担当部局において、指摘事項への対応を行ってまいりました。こちらの表は、その対応状況をAからDまで評価をつけたものになります。

Aと言いますのは、既に指摘の趣旨を踏まえて取組が開始されているもの、Bは、まだ、取組は開始されていないものの、指摘の趣旨を踏まえてこれから取組を進めていく準備ができていますもので、こちらのAB判定につきましては、おおむね合格ラインと考えております。

続きまして、CDにつきましては、検討中のものや、指摘に対する検討が進んでいないものになります。

B以上のものにつきましては、先の見通しが立ったということもございまして、指摘へ対応済みという整理にさせていただいております。

平成29年度の9つの指摘に対しまして、A評価が5つ、B評価が4つと考えております。

続きまして、具体的内容についてご説明させていただきます。

資料1-2をご覧ください。

こちらの表は、9つの指摘につきまして、指摘対象事業、指摘事項、それに対する対応状況、そして、AからDの評価案という形で掲載させていただいております。

この評価は、事務局の中で検討させていただいた案になりますので、本日、ご議論いただいた上で、最終的な評価とさせていただければと考えております。

時間の関係もございますので、B評価のものから二つほど取り上げてご説明させていただきたいと思っております。

ナンバー5の高齢者等の在宅医療ネットワーク推進事業です。こちらはB評価のものですけれども、この事業は、誰もが住みなれた地域で漏れや切れ目なく安心して療養できるように、在宅医療体制を構築するという事業になっております。

これに対する指摘としましては、寒冷地や大都市の札幌の特徴を踏まえて、在宅医療が定着していない原因分析を行うとともに、在宅医療をより一層推進するための対策を講じることといったものでございました。

これに対する対応としまして、まずは在宅医療関係者の人材育成研修や普及啓発事業により、札幌での在宅看取り件数が増加しておりまして、在宅医療が札幌市においても定着傾向にあるものというふうを考えております。今後も、市民アンケート等を通じた課題の把握や他都市との情報共有により、必要な対策を講じていきたいと考えているところでございます。

現在行っている取組に加え、必要な対策の検討をこれからも進めていくという意味で、B評価ということにさせていただいております。

続いて、ナンバー8、下水道施設再構築事業についてご説明させていただきます。

こちらは、下水道管路や処理施設の老朽化に対して計画的に改築を進め、下水道機能を維持していくという事業になります。

今後の改築の事業量の長期的な推計を踏まえた財源や将来的な受益者負担のあり方について分析し、市民にどのように示していくべきなのかを検討することという指摘をいただいております。

こちらに対する対応ですけれども、1段目にありますとおり、将来必要となる事業費を試算した上で、長期的な収支の推計や受益者負担のあり方について検討を進めているところでございます。今後、札幌市下水道ビジョンや札幌市下水道中期経営プランといったものの中で、市民の皆様に対してもお示ししていく予定でございます。

また、そのほか、パンフレットや広報イベントなど、様々な機会を捉えて市民への周知、理解というものにも努めておりまして、今年度実施する意識調査などを通じましても、市民へどのように示していくべきなのか、検討を進めていく予定と考えております。

こちらの事業につきましても、現在、下水道ビジョンや中期経営プランの改定はこれからということもございまして、B評価とさせていただいております。

以上、B評価のものから二つほど抜粋してご説明させていただきました。

説明は以上とさせていただきます。

●石井委員長

今のご説明に関して、ご質問、ご意見等があれば、お伺いしたいと思います。

Bのものは難しい指摘をしていますので、多分、Aにはならない要素があるということかと思えます。

よろしいでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

●石井委員長

要は、問題意識を持ってもらうような部分を指摘したということもありますので、一定の認識になっていることは評価できるところです。この内容からいうと、Bが一定程度混在するのは、仕方がないかと思います。

そうしましたら、委員会として、この改善・見直しの検討結果については、事務局につけていただいた評価のとおりお認めすることよろしいでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

●石井委員長

Bのものは、引き続き、事務局で留意いただくことをお願いして、原案どおり整理させていただきます。

それでは、議事の二つ目、今日のメインの議論になりますけれども、今年度の評価対象事業の選定についてでございます。

これについても、事務局からご説明をお願いしたいと思います。

●推進担当係長

それでは、続きまして、資料2-1、令和元年度のヒアリングについて(案)という資料をご覧ください。

今年度のヒアリングにつきましては、8月6日火曜日を予定しております。

ヒアリングの対象及び時間配分ですが、ヒアリングは、評価対象の事業所管部局に対して行うものでございます。ヒアリングを行った後に、事務局から、市民参加ワークショップの事前説明をさせていただき流れで考えております。

評価対象事業に関する質疑応答、ヒアリングが100分程度、その後、所管部局に退出いただき、委員の皆様だけの論点整理を30分程度、ワークショップの事前説明を20分程度、計2時間半を想定しております。

続きまして、3番の実施方法です。

この後、皆様に今年度の評価対象事業を選んでいただきますけれども、その事業に対してヒアリングの前にご質問をいただきたいと思っております。その質問をあらかじめ所管部局に渡しまして、委員の皆様方にヒアリング前に回答をお渡しした上で、8月6日当日のヒアリングを行うというイメージで考えております。

ヒアリング当日は、所管部局が入れ替わりでご説明に入らせていただきまして、説明が全て終了しましたら、ヒアリングした内容をもとに、今後の論点について、30分ほどかけて議論をしていただく予定になっております。この議論の中で、今年度の指摘の方向性なども見えてくるかと考えます。

市民ワークショップのテーマにつきましても、本日、選定していただくこととなりますが、ヒアリングの場ではワークショップ当日の内容や流れなどについてご説明をさせ

ていただく予定でございます。

4番の事前質問に関することですが、先ほどもお伝えしましたけれども、本日、対象事業を選定いただきましたら、まずは事業概要等を私どもからメールで一旦送付させていただきます。そうしましたら、内容をご確認の上、疑問に感じられる点などがございましたら、7月24日水曜日までにメールで送付していただければと考えております。

今年度のヒアリングの説明については以上でございます。

●石井委員長

今のご説明について、ご質問がございましたらどうぞ。

(「なし」と発言する者あり)

●石井委員長

例年どおりということかと思えます。今年度はワークショップのテーマがなかなか難しいという感じがしますけれども、次のところで議論したいと思います。

評価対象事業の選定について、事務局から説明をお願いしたいと思います。

●推進担当係長

続きまして、資料2-2をご覧ください。

こちらは、前回の会議の中で絞っていただきました七つの施策、4-1、4-2、5-1、5-4、5-5、6-2、9-6につきまして、それぞれ関連する事業を掲載した資料となっております。

個別の事業につきまして、事業概要や、平成30年度の予算・決算見込額などを掲載させていただきます。

表の中に横線があるものにつきましては、平成30年度以前に既に事業終了しているものや、他事業との統合などを行っているものがございます。評価の対象として適さないということで、こういった表記をさせていただきます。

資料2-3は、今ご説明した事業に関しまして、担当部局ごとに再整理した資料になります。

このグレーの色塗りの事業が幾つかあるのですが、これは先ほど説明した、事業が終了しているもの等でございます。

これらの資料を評価対象事業の選定の参考にしていただければと思っております。

説明は以上になります。

●石井委員長

それでは、資料2-2、資料2-3をもとに、今年度の評価対象事業の選定ということで、少し議論をしたいと思えます。

大きくくりで絞っておりますけれども、どれを選定するかということで、改めて、ご意見をいただければと思えます。

上岡委員から口火を切っていただいてもよろしいでしょうか。

●上岡委員

まず、第1回目を欠席してしまって、大変失礼いたしました。

1回目の会議録なども拝見して、議論の流れとしておおむね把握しているつもりではあるのですが、候補になっているものの中から、評価対象として取り上げたいと思っているものは、6-2の産業分野の人材を育む街、誰もが活躍できる社会の実現についてです。やはり、人口減少社会ですから、これからどんどん人材を活用していく必要があると思いますので、その観点からも、この施策については、きちんと評価したいと思っているところです。

もう一つ上げるとしたら、5-1の世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開を候補にしたいと思っています。やはり、札幌の魅力をどういうふうに伝えていくのか、または、海外の力を取り込んでいくのかということは今後の重要な課題だと思っていますので、評価の対象としたいと思っています。

以上になります。

●石井委員長

では、逆時計回りで、篠河委員、お願いします。

●篠河委員

いろいろ考えていたのですが、今の上岡委員の意見は、私が考えたものと一致します。

もう一つ、やはりこれからは農業を生かして北海道の産業を活性化するという意味では、4-1のナンバー4の6次産業活性化推進事業や、5-1には海外販路や海外進出企業などの育成の事業が入っているので、4-1と5-1かなと思っています。

それと、観光誘致という意味では、4-2もあるのかなと考えていました。

以上です。

●石井委員長

4-1、5-1、4-2の一部でよろしいでしょうか。

●篠河委員

そうですね。

●石井委員長

4-2だと、どこら辺になりますか。

●篠河委員

4-2はたくさんあるのですが、その中でもナンバー42、ナンバー43、ナンバー44が良いかと思います。

●石井委員長

わかりました。

蟹江副委員長、お願いします。

●蟹江副委員長

私も、4-2のナンバー9からナンバー15あたりの文化部の保存活用の考え方、そ

れから、ナンバー47とかナンバー48の人材育成と、6-2のナンバー100以下の雇用推進は、人材育成という観点であわせてどうかなと思いました。

これは幾つぐらい選ぶのですか。

●推進担当係長

事業の数でいうと20事業前後が一つの目安かと思います。

●石井委員長

少なくとも4-2を選んだら事業数が多くなりますので、少し絞る形にはなります。

私は、皆さんの論点でいうと6-2と、最後の9-6も評価したいと感じています。

●蟹江副委員長

9-6ですが、丘珠は文化財っぽいところがありますよね。札幌ドームもすごく興味があるのですが、市民ワークショップではちょっと重たいですね。

●上岡委員

先ほどの9-6の丘珠は、蟹江副委員長がおっしゃった4-2のナンバー9からナンバー10のあたりと部局が重なってきますので、ヒアリングなどはしやすいのかなと思います。

●石井委員長

皆さんからいただきましたけれども、6-2は割と共通で上がっていたような気がします。女性と高齢者の雇用という問題は、やっている内容は別として、札幌市の実際の政策展開としても極めて重要で、むしろ進んでいないという意味では非常に重要な政策課題ではないかと思います。政策は、金額を見てもそんなに大きな額ではないのですけれども、議論するターゲットの施策としてはかなりプライオリティーが高いかなという気がします。

怒られるかもしれませんが、札幌市は産業政策のプライオリティーが割と高くない印象があります。やっていないわけではないのですけれども、重点的に予算を投じてやっているようには見えないところがあるのです。昨日、たまたま札幌市の別の部局の方と議論していたのですが、今は地方創生の最終年度で、次はどうするかという議論でいうと、特に女性の雇用の確保は札幌市全体としても非常に大きな課題になるかなと思います。

この部分は部署が分かれるから、全部選ぶか、少し外すかという話はあるかと思いますが、最初に口火を切っていただいた上岡委員、どうでしょうか。

●上岡委員

部署が分かれるのは、ナンバー97とナンバー98ですね。

ただ、ナンバー99が評価の対象にならないと考えると、四つだけでは少し寂しいのかなという印象もあります。関連部局が増えてしまいますけれども、できれば六つやったらいいかなと思います。

●石井委員長

むしろ、関連部局間の連携がちゃんとできているかみたいな話がポイントになると思

います。この政策自体が少し横断的な話になるから、やはりそういう視点で話を聞いて評価するというのであれば、申し訳ないけれども、部署を広げておくという考え方もあるかもしれないですね。

6-2は、全て選ぶことでいかがでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

●石井委員長

今日的な意味がある施策だと思いますので、6-2を選ばせていただきます。

あとは、4-1、4-2、5-1あたりでご意見が出ていましたが、この辺はいかがでしょうか。

●篠河委員

先ほどお話が出ていた文化財の保護という意味で、蟹江副委員長からありました4-2のナンバー9からナンバー15、飛びまして、9-6の丘珠の案件も一緒に議論したらいいのかなと考えました。

●石井委員長

それだったら、4-2のナンバー16の札幌と、9-6のナンバー105の札幌ドームを入れると、多くの費用がかかっている、もしくは、かけるという内容で、議論のし甲斐があるかなと思いました。

●篠河委員

札幌と札幌ドームが入ると大きいですね。

●石井委員長

ナンバー16も同じ部署ですから、そんなに広がるわけではありません。

4-2を選んだら、それで議論が終わってしまうので、よくお考えいただきまして、ほかにあれば言っていたきたいと思います。

●上岡委員

4-2を選ぶと、数としては札幌ドームも入れても10事業、合わせて16事業ですから、もう少し選んでもいいですね。

先ほど議論が出ていたものでいうと、5-1のナンバー68からナンバー72、4-1のナンバー4、ナンバー5、もしくは、国際観光誘致事業や新千歳空港国際便誘致事業もおっしゃっていたかなと思います。おもてなし・人材育成事業なども同じ誘致、観光受け入れのほうになってきますから、どちらかのグループという感じでしょうか。

●蟹江副委員長

産業振興でいくか、観光・MICEでいくかということですね。

●上岡委員

はい。

●石井委員長

どちらがいいですかね。

5-1は、選ぶとしたらどれでしょうか。

●上岡委員

先ほどお話が出ていたのは、ナンバー68からナンバー72あたりかなと思います。

●石井委員長

これで、ちょうど20事業ぐらいになるのですね。

●上岡委員

そうですね。

これに4-1のナンバー4、ナンバー5を加えたら欲張り過ぎますかね。数としては少し多くなってしまいますし。

●石井委員長

ナンバー4、ナンバー5は、ほとんど結果が見えている世界かなと思います。

●上岡委員

それでは、5-1のナンバー68からナンバー72ですね。

●石井委員長

これで、大体、20事業ぐらいですから、いいところだと思います。

それでは、確認しますが、4-2のナンバー9からナンバー16、5-1のナンバー68からナンバー72、6-2は、ナンバー99を除いたナンバー97からナンバー103、最後の9-6の二つで、全部で21事業ですね。

決める前に、ワークショップのテーマになり得るものを見つけないといけませんので、そちらの話を整理させていただきたいと思います。

市民ワークショップで選ぶテーマはどうでしょう、今選んだ中でうまく選定できないと、もう一回やり直しになってしまいます。

素直に6-2からテーマを設定するというのもあるかもしれませんね。

●上岡委員

直近では雇用関係のテーマ選定はないですし、議論もしやすいのかなと思います。

●石井委員長

仮に6-2を選ぶとして、ワークショップのテーマ設定でいうと、そんな感じでしょうか。余り広げないで女性に少しターゲットを絞ったら今日的なテーマになりますか。北海道、特に札幌市は、女性の有業率が低分街ですから、もっと働いてもらうという問題意識はすごく大事だと思います。

個別の事業よりも、むしろ施策のイメージに近い、女性の就業みたいなことをテーマにしますか。

●上岡委員

そうですね。ここにも書いてありますけれども、女性の就業率を上げるためには、子育て支援環境の充実やワーク・ライフ・バランスの取組の促進なども当然重要な課題になってくると思うのです。やはり、そのあたりの視点で議論をしていただければ、女性

だけではなくて、男性も、いろいろな層の方も、私ごととして議論しやすいのかなとは思
うのです。

テーマとしては、もちろん女性の就業率を上げるという裏の議論の目的はあるにして
も、個別の事業でというよりは、今、委員長がおっしゃったような施策のイメージで、
ワーク・ライフ・バランスや子育てと仕事の両立などについて、もう少し幅広く話し合
っていただけたらなとは思いますが、いかがでしょうか。

●石井委員長

ワーク・ライフ・バランスは、言葉は大分広がっていますが、わかりにくいから、子
育てと仕事の両立のほうが具体的ですね。ゾーンは絞られるけれども、多分、議論する
べきテーマとしては、そこが一番ポイントになるかもしれないので、そちらのほうがい
いかもしれません。

仕事と子育てではなくて、子育てと仕事の両立と考えるのです。

札幌含め、北海道は3世代同居が少ないので、もともと両立が難しいのです。祖父母
など、子どもを見てくれる人が世帯の中に基本的にほとんどいないのが札幌の世帯構造
の特色なのです。といっても、札幌の気質だと、3世代同居という選択肢は余りなさそ
うですよ。親も子どもと住みたいなんて余り言わないように感じます。

●上岡委員

やはり、気質の問題でしょうか。

●石井委員長

そう思います。

3世代同居が一番多いのは北陸で、共稼ぎが徹底しているわけです。家に女性が2人
残っているのは、みんなアンハッピーなので、否応なく働きに出るのです。そもそも、
3世代同居が楽しいかといったら、やはりしがらみがあって大変という本音が北陸には
すごく強くあるのです。逆に、北海道はうらやましいということなのだそうです。

笑い話ですけども、この脈絡だと、一番の解決策は何といったら、3世代同居を進
めるということなのです。

●篠河委員

確かに、北海道は、近くにいてほしいけれども、たまに遊びに来ればよいという感じ
で、一緒に住まないことが多いかもしれませんね。

●石井委員長

それは非常に自由度が高いけれども、ある意味では、労働力を社会資源と言ってしま
ったら、その有効活用ができていないという問題があるのです。もちろん、そういう
議論になるかどうかはわかりませんがね。

●改革推進室長

前提として、そういう北海道の状況なり札幌の特性を冒頭に置いて議論できるという
ですね。

●石井委員長

この議論は、前提をちゃんとわかっていないまま、ただやると、ややエモーショナルな議論になりかねないのです。そういう議論はほとんど意味がないので、自分たちの地域構造というか、特色をちゃんと理解した上で、どういう解決策があるかという話に持っていくという意味では、少し難しいテーマかもしれません。でも、女性にかかわる話は、地方創生以降、札幌市にとってやはり一番重要なテーマになるのではないかと思います。

●改革推進室長

そうですね。ほかの都市に比べると、女性の人口比率が高いはずなのですが、委員長がおっしゃったように、仕事を持っている人は少ない現状だと思います。

●石井委員長

数字も含めて、少し市民の方にも理解を広げましょう。そもそも、女性がみんな働いている地域だと思っているぐらいですから、余りそういう意識がないみたいです。

●上岡委員

確かに、自立しているイメージがあったのです。

●石井委員長

離婚したシングルマザーが多いのです。でも、シングルマザーは生活保護率も高い傾向にあるので、自立しているとは言いがたいところが実はあります。

もちろん自立してやっている人もいっぱいいるのですが、実際に札幌は非正規雇用の比率も随分高いですから、働いていても自立できているかという、できていないという実態もありますので、女性の雇用に関して、本当はいろいろな論点があるのではないかと思います。

やり方を工夫した上で、ワークショップで議論すると。余り漠然とした進め方をすると、どんな議論になるか、拡散すると意味がなくなると思いますので、そこは少しご相談して進めるということかと思います。

そうしましたら、ワークショップのテーマも決まりました。事務・事業を見ていたら、今年はテーマ設定が難しいと思って悩んでいたのです。逆に、少し戻すと、ここら辺が議論になるかと思います。

これで、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

●石井委員長

それでは、事業の選定とワークショップのテーマは、セットで今のような形で進めていただきたいと思います。

●推進担当係長

それでは、最後に、私から資料3のワークショップの案についてご説明させていただければと思います。

市民ワークショップは、8月24日土曜日と9月8日日曜日の2日間で行う予定で考えております。

1日目に選定していただいたテーマに関して、施策・事業の説明や、市民の皆さんに議論していただく課題の抽出などを行います。

2週間、間を置きまして、2日目には、課題に対する改善提案等を議論していただくことを予定しております。

参加者につきましては、今後、無作為抽出した3,000名程度にご案内を差し上げて、そのうち、参加の意向を示してくださった方、上限48名程度かと考えておりますけれども、ワークショップを行う予定です。

また、大学機関と連携して学生の方に参加していただけるような工夫も取り入れていきたいと考えております。

お忙しい時期かと思いますが、委員の皆様方には、可能な範囲でご参加いただければ幸いと考えております。

ワークショップの説明としましては以上でございます。

●石井委員長

それでは、次回、8月6日がヒアリングになりますので、それをやってから本格的に評価の作業が動き出すこととなります。何の議論もせずにテーマを軽く選んでしまっ申しわけないのですけれども、ここは余力んでもしようがないというか、順番におもしろそうなものを選ぶぐらいでよろしいかと思います。それなりに違う軸の事務・事業が入っていますので、いろいろ議論のネタにはなろうかと思います。

まずは、次回、ヒアリングを迎えることにさせていただきたいと思います。

その他で、事務局から何かございますか。

●推進担当係長

特段ございません。

3. 閉 会

●石井委員長

どうもありがとうございます。これで、終わらせていただきます。

以 上